

安全ブロック SRL-R Retrieval SRLs

取扱説明書

警告：当製品は、墜落防止システムの一部を構成するものです。墜落防止システムの取付け・使用に携わる人は、各構成品の取扱説明書を必ず読みその指示に従って下さい。また各構成品の取扱説明書は、当製品の使用者にも配布して下さい。その上で、当製品の使用前に必ず各取扱説明書を読み理解する、あるいは取扱方法についての講習を実施して下さい。適切な使用・検査・メンテナンスを実施するために、取扱説明書の指示に従って下さい。交換・代用・不適切な使用や、取扱説明書に反する行為は、重大な事故に繋がります。

重要：取付け、使用、メンテナンスや用途についての疑問は、代理店にお問い合わせ下さい。

ティー・アイ・トレーディング株式会社
〒143-0016 東京都大田区大森北 2-9-14 二島ビル 2F
Tel: 03-5763-8177 Fax: 03-5763-1052
Web サイト：http://www.ti-trading.co.jp

目的

作業者の墜落防止と機動性が求められる環境（検査、建設現場、メンテナンス、石油採掘等）で、安全ブロックのある墜落防止システム内で使用されます。墜落発生時には、ハンドクランクで墜落者の上げ下げを行います。

緊急時の救助のみ使用：ハンドクランクは墜落時の救助のためのものです。それ以外の人やものの上げ下げには使用しないで下さい。

システムの制限と要求事項

設置・使用前に、「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」に記載されている制限と要求事項を考慮して下さい。

互換性

システムの互換性：当製品は PROPECTA ブランドの認定を受けた製品（PROPECTA と DBI-SALA の三脚とブラケット）とのみ使用可能です。その他の製品との代替・交換は互換性を損ない、墜落防止システムの安全性と信頼性に影響を与えます。

コネクターの互換性：以下の条件を満たす場合、コネクターは安全ブロックと互換性があると考えます。コネクターの大きさと形状が、コネクターがいかなる動きをした時もゲートが開かない作りになっていること。詳しくは「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」をご参照下さい。

インストール

作業を始める前に墜落防止システム使用に関する計画を立てて下さい。墜落前・墜落中・墜落後を考慮して下さい。「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」に記載されている制限と要求事項を考慮して下さい。

アンカー：当製品はカラビナでアンカーに接続可能です。詳しくは「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」をご参照下さい。

三脚：図1に当製品の三脚への取付方法を示します。三脚とブラケットの各取扱説明書をご参照下さい。

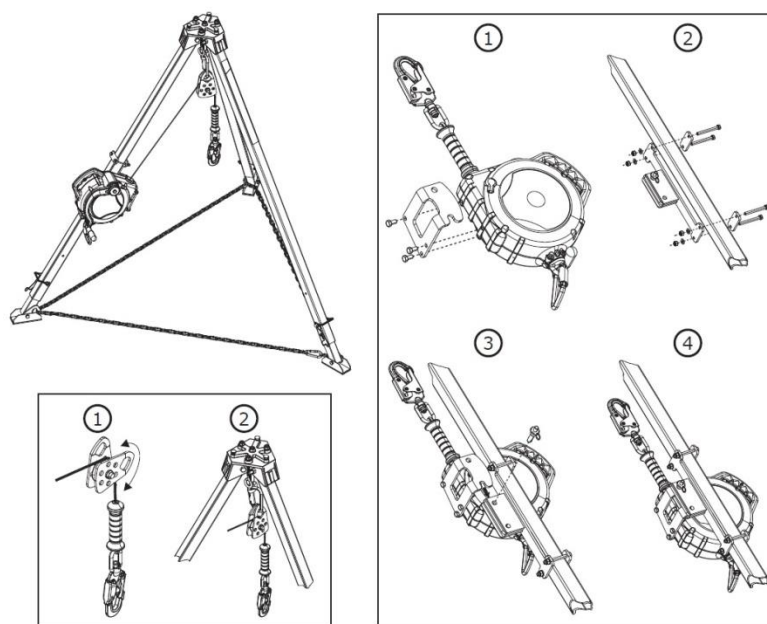


図 1 三脚への取付け

使用方法

警告：墜落防止の際にかかる衝撃に対して、健康状態に不安がある場合は、医師や経営者の判断を仰いで下さい。年齢と健康状態は、墜落時の衝撃を耐えるために重要です。妊娠中の女性や未成年者は当製品を使用しないで下さい。

警告：当製品を意図的に誤使用しないで下さい。当取扱説明書に明記されていないサブシステムや構成品とともに使用する場合は、購入元にお問い合わせ下さい。互換性のないサブシステム・構成品を使用した場合、安全性を損なう恐れがあります。機械、電気、化学薬品、鋭利なエッジのある場所で当製品を使用する場合、十分な注意を払ってご使用下さい。ケーブルが巻き付くのを避けてご使用下さい。

使用前：点検項目に基づいて点検を実施して下さい。不具合が見つかった場合は使用しないで下さい。

墜落発生後：墜落を防いだ製品は使用を中止し修理のため代理店にご連絡下さい。

ハーネスとの接続：ハーネスの背中中のDリングと接続してご使用下さい（図2）。

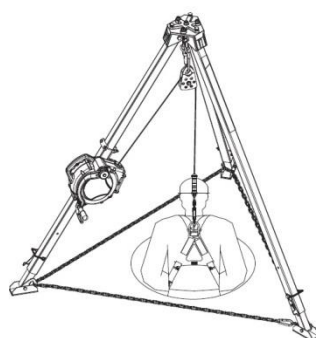


図 2 ハーネスとの接続

巻き上げモード：図4は巻き上げモードの使用方法について示したものです。巻き上げモードにするには以下の手順を踏みます。

- ① 黒いハンドルを矢印の方向に強く引っ張ります。
- ② 引っ張ったハンドルを元々の位置の逆側へ持って行く。
- ③ シフトノブを矢印の方向に引っ張った状態で保持する。
- ④ クランクアームを押し込み、シフトノブから手を離します。必要であればハンドルを時計回りに回転させま

す。

- ⑤ 図3のようにハンドルを回して上げ下げを行います。上げるためにはハンドルを反時計回りに回します。下げるためには、まず少し反時計回りに回し、その後時計回りに回します。

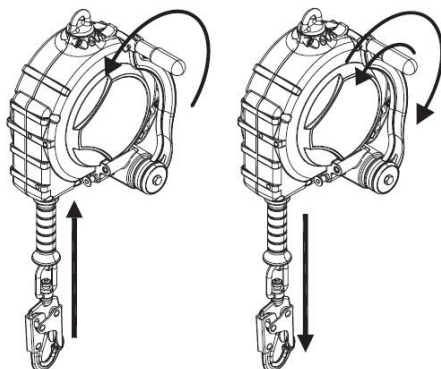


図3 巻き上げ巻き下げ

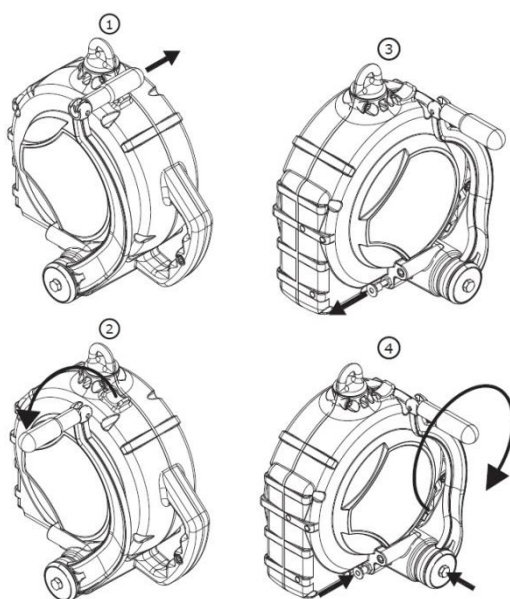


図4 巻き上げ下げモードへの移行方法

オーバーロード：当製品にはオーバーロードクラッチが搭載されていないので、使用者へ負荷を減らすことが出来ません。巻き上げ下げモードの時は、ケーブルが張った状態で操作して下さい。また、巻き上げ中に吊るされた作業者が障害物に接触したり絡んだりしていないか確認しながら操作して下さい。

ノート：ケーブルを引き出すためには、少なくとも 33.9kg の荷重が必要です。最大荷重がかかっている時は、巻き上げ下げするのに 0.13kN の力が必要です。

注意：ケーブルが全て引き出された時と全て収納された時は、ハンドル操作を止めて下さい。引き続きハンドルを回し続けると、製品にダメージを与える可能性があります。

巻き上げ下げモードの解除：巻き上げモードにするには以下の手順を踏みます。

注意：巻き上げ下げモードが解除されると、引き出されていたケーブルが安全ブロックに引き込まれていきます。怪我を避けるために、巻き上げ下げモードを解除する前にケーブルを全て安全ブロックに収納しておくか、ケーブルを保持した状態で解除して下さい。

- ① 安全ブロックに接続されている荷重を全て取り外す。
- ② シフトノブを矢印の方向に引っ張った状態で保持する。
- ③ クランクアーム引っ張り、シフトノブから手を離します。
- ④ 黒いハンドルを引っ張り、元の位置に収納します。

点検

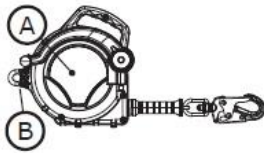
安全で効率的な運用のため以下に示される手順・頻度で点検を実施して下さい。

使用前点検：OSHA1910.66、OSHA1926.502、ANSI Z359.14、CSA Z259.2.2 では使用前点検が義務付けられています。下記の検査手順をご参照下さい。

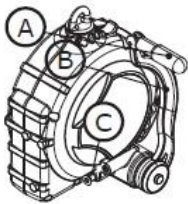
毎年の点検：ANSI Z359.14 は、専門知識を有する人物（使用者は含まない）が毎年一度点検を実施することを義務付けています。使用環境により、より高頻度の点検が必要になる場合もあります。詳しくは、ANSI/ASSE Z359.14 マニュアルをご参照下さい。

ノート：カナダの CSA 規格では、製造日から2年以内に一度点検することが求められています。それ以降は年に一度の点検が義務付けられています。

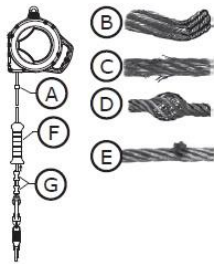
墜落発生後：安全ブロックを取り外し、点検や修理のために代理店にご連絡下さい。



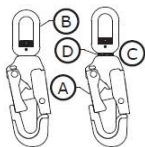
- ・安全ブロックとブラケットのボルトに緩みや曲りが無いか、ダメージを受けている部分が無いか確認する
- ・ハウジング(A)に歪み、ひび、その他のダメージが無いか確認する
- ・アイボルト(B)にひびやダメージが無いか、引っかかりなく回転するか確認する
- ・ケーブルを強く引っ張った時にロックするか確認する。ロックされた状態でケーブルが動かないことを確認する
- ・腐食が無いか安全ブロック全体を確認する
- ・全てのラベルがはがれていないこと、全て読めることを確認する



- ・ハンドル(A)とクランクアーム(B)に歪みやダメージが無いかを確認する。それぞれの動作がスムーズなことを確認する
- ・シフトノブ(C)を引っ張り、離す。クランクアームがシフトノブの動作により稼働・解除されることを確認する
- ・34～140kgのサンドバッグを吊るして、巻き上げ/下げ操作に問題が無いかを確認する。ハンドルから手を離してもケーブルが引き込まないことを確認する。巻き上げるときにカチカチと音がすることを確認する



- ・ケーブルの出し入れが緩みなくスムーズに行えることを確認する
- ・リザーブケーブルを点検します。ほとんどのケーブルが引っ張り出された状態で墜落を防止した場合、リザーブケーブルが使用されます。ケーブルが止まるまで安全ブロックから引っ張り出します。赤い線(A)が見えたら、リザーブケーブルが使用されたことを示します。その場合は、安全ブロックの使用を中止し、代理店にご連絡下さい。
- ・ケーブルに切れ目、キンク(B)、ワイヤーの断線(C)、鳥の巣状(D)、溶接スパッタ(E)、腐食、薬品との接触跡、摩耗がないか確認する
- ・ケーブルバンパー(F)を上げ、内部(G)にひびやダメージが無いか、ケーブルに腐食や断線がないか確認する



- ・スナップフックにダメージや腐食がないか確認する
- ・ゲート(A)の開閉が正常か、スイベル(B)が自由に回転するか確認する
- ・スナップフックの衝撃表示部を確認する。もし赤い線(D)が表示されている(C)場合、墜落の衝撃を受けたことを表します。その場合は使用を中止し代理店にご連絡下さい。衝撃表示部をリセットしようとししないで下さい。

コネクターとフルハーネス

- ・アンカーへのダメージ、腐食、適切に動作するかを確認する
- ・フルハーネスの取扱説明書に従ってフルハーネスを点検して下さい

点検後：「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」のログに点検結果を記録して下さい。点検の結果、欠陥が見つかったら使用を中止し代理店にご連絡下さい。

「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」のメンテナンスとサービスの項に従ってメンテナンスを実施して下さい。追加のメンテナンスについては代理店にお問い合わせ下さい。安全ブロックを解体してのメンテナンスは実施しないで下さい。

ノート：油をささないで下さい。

保管

安全ブロックは、「安全ブロック Cable Series SRLs 取扱説明書」に記載された条件下で保管して下さい。

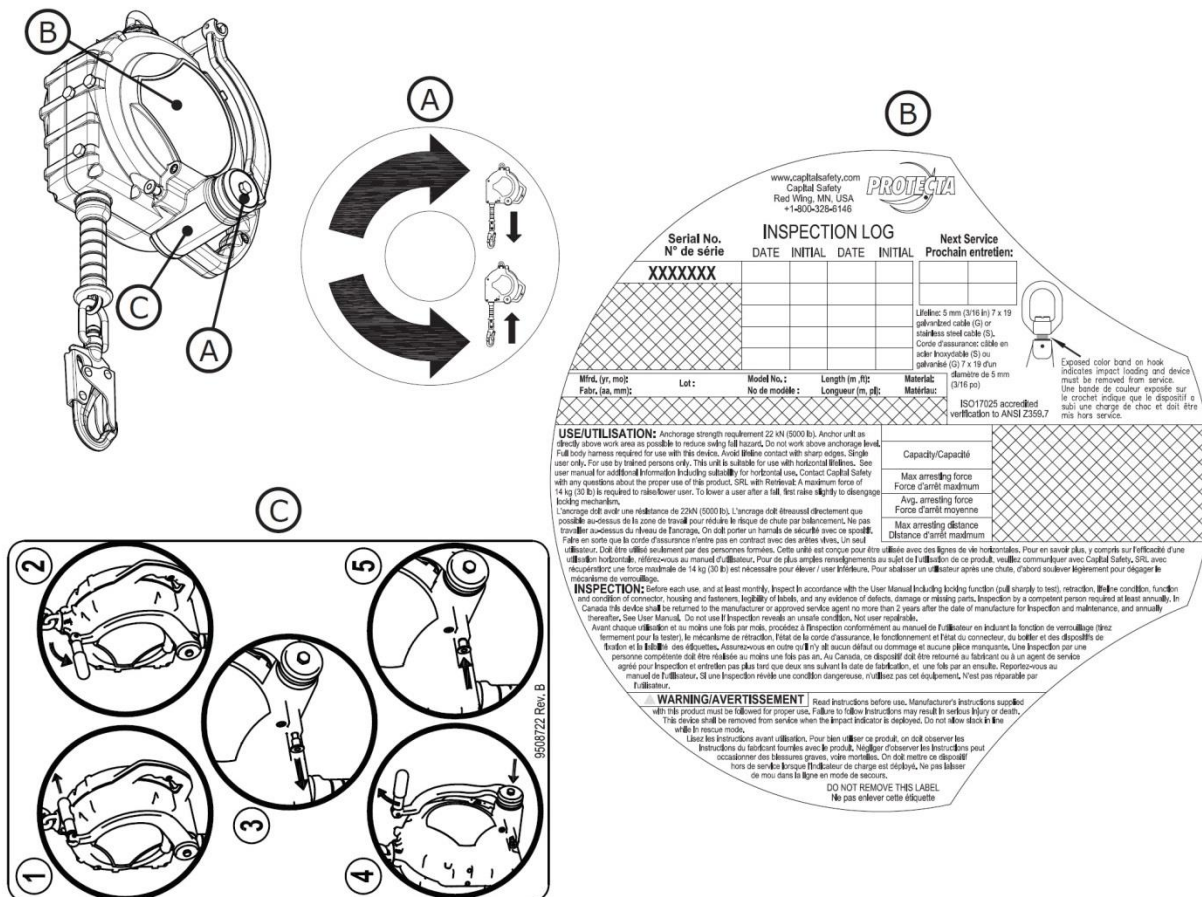


図 5 ラベル

ラベル記

使用：アンカーは22kNの静的荷重を支えるものを選んでください。スイングフォールを避けるため、アンカーの位置は出来る限り作業の真上に来るようにして下さい。アンカーよりも高い位置で作業しないで下さい。当製品を使用する際は、フルハーネスが必要です。鋭いエッジとの接触を避けて下さい。接続人数は1人です。トレーニングを受講した人のみ使用できます。水平方向での使用も可能です。使用方法に疑問がある場合は、代理店にご連絡下さい。巻き上げ/下げには最大14kgの力が必要です。墜落発生後に作業者をケーブルで下げていく前に、ロックを解除するために一度少しだけ巻き上げて下さい。

点検：使用前、あるいは月に一度取扱説明書に従い点検を実施して下さい。点検項目は、墜落防止機構が適切に動作するか、ケーブルの出し入れはスムーズか、ケーブルに問題はないか、コネクタ・ハウジング・ファスナーにコンディションと機能に問題はないか、ラベルははがれてなく読める状態にあるか、その他ダメージや欠陥、

不足の部品はないか確認して下さい。専門知識を有する人物による点検は毎年実施して下さい。カナダでは、製造日から2年以内に一度、その後は毎年、製品の点検のためにメーカーに送り返す必要があります。取扱説明書をご参照下さい。もし製品の状態に安全でない箇所が見つかった場合、使用しないで下さい。使用者は修理出来ません。

警告：使用前に取扱説明書を読んでください。製品の適切に使用するために、取扱説明書に従って下さい。従わなかった場合、重大な事故に繋がる可能性があります。衝撃表示部の赤い線が表示された時は、使用しないで下さい。救助中はケーブルが緩まないようにして下さい。